

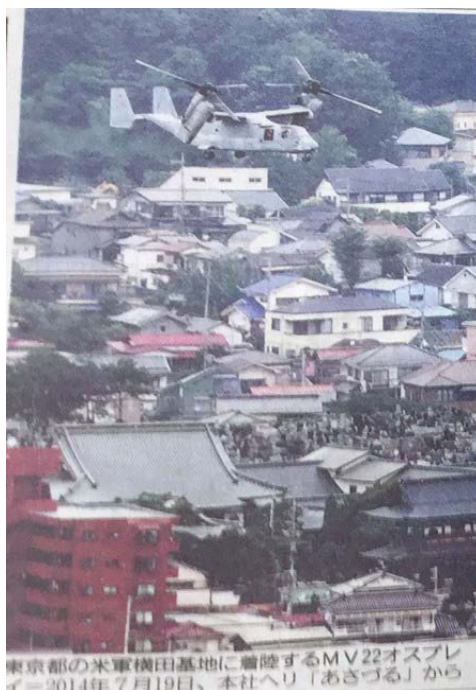
## オスプレイ事故

16日に「オスプレイ全国運用」とレポートしたばかりである。その際、中谷防衛相は「わが国政府として独自に分析評価を行い、機体の安全性を確認した」と述べていた。そのオスプレイ、米海兵隊のMV22がハワイ・オアフ島で着陸事故を起こした。

毎日新聞5月19日は「配備自治体 広がる懸念」と大きく報じている。「憤りが一番。オスプレイの危険性は周知のことで、1機墜落したことの意味合いは大変大きい。原因究明などしかるべき説明をしてもらい、配備撤回を要求する」。事故を受け18日、沖縄県庁で臨時に記者会見をした翁長知事は終始厳しい表情を崩さなかった。普天間飛行場配備のオスプレイ24機は、今回の事故と同じ海兵隊仕様のMV22。新たな懸念もある。

12日に発表された空軍仕様のCV22の横田基地配備だ。特殊作戦部隊の輸送が主な任務のCV22は低空飛行や夜間飛行が多いと言われ、事故率は7.21と、2.12のMV22の3倍以上だ。国内に米軍特殊部隊があるのは嘉手納基地など沖縄県だけで頻繁な飛来も予想され、沖縄県にとっては事実上の負担増になりかねない。

写真は中日新聞5月19日掲載の東京の米軍横田基地に着陸するMV22オスプレイ（2014年7月19日）である。「オスプレイ 高まる不安」と報じている。米関係者から「危険性の指摘続く」、住民は「事故原因明らかに」と訴えるが、日本政府は「それでも訓練停止求めず」だ。政府は



18日、在日米軍基地周辺の住民の反発を懸念し、米側に迅速な情報提供を要請した。だが、国内での訓練飛行の一時停止を求める考えのないことを明らかにし、逆に事故直後にもかかわらず「安全」を強調し、米軍に配慮する姿勢をみせている。

「今までの飛行時間とかの指数で、オスプレイは安全だと思っている」。菅官房長官は18日の記者会見で、オスプレイの安全性について政府の認識を問われ、事故直後で原因も分かっていないのに「安全」と言い切った。自衛隊では航空機などの事故が発生した場合、一定期間、訓練を中止することが多いが、中谷防衛相は同日の臨時会見で、「在日米軍の訓練は非常に重要。当事者の米軍が判断すべきだ」と述べた。朝日新聞もこの問題を大きく報道しているが、読売の取り上げ方が、なぜか小さいことも気になる。

(2015年5月21日)